

日蓮宗 常栄山 本照寺だより

長男が僧侶を志し 新たな出発を

■明けましておめでとーございます。さて、一昨年長男からの「跡を継がせてもらえかな」との問いかけに「もちろん！」(少なからず戸惑いもありましたが……)との返事をしてから1年(昨年11月)。ついに本照寺の跡を継ぐこととなりました。向こう1年間は国家資格試験を受けるため、塾通いや日々の勉強などもあり土日のみ出勤となりますが、お見知りおきのほどを願います。以下、挨拶文を掲載させていただきます。



昨年 いちよう落葉の中で。長男妻・由子さんと

■長男の貴裕と申します。私はサラリーマンとして6年半勤めました。僧侶を志して昨年の11月より土日に本照寺へ通い始めました。境内で皆さまとお会いすることも

須藤貴裕・すどう たかひろ
昭和59年生まれ29歳。
法政二高、法政大学文学部心理学を卒業後、サラリーマンとして6年半勤く(主にコンサルティング会社に)。現在は海老名市に妻、由子(よしこ)と家庭を設け、朝7時まで自転車にて厚木市本照寺へ通う。

第54号
厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
(加入者名・本照寺)
発行所
本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438

今後本照寺へのメール通信は以下でお願いいたします。

honshou49@i.softbank.jp

また院首(先代)はあまり電話に出ませんので留守番電話となることが多くなっています。何とぞご了承ください。



昨年の紅葉・もみじ

新聞売り少年に教えられる

パート 安藤知明71

東アフリカのタンザニアに住んでいた頃、通勤途中に道端で少年から新聞を買うのが習慣だった。現地では珍しい大雨が降り、いつもの少年がびしょ濡れになりながら新聞を売って

ていた。「全部買ってあげるから、今日は家に帰らないで」と言う少年は「早くから毎朝買ってくる人が、この後構えずと断った。結構寒くて大変だろう」と思っていた。少年の言葉を胸に、周囲に喜ばれる仕事をしようと思ふ。しかし、よく考えて

みれば、仕事をするという事は他人を助けること、喜んでもらうことである。少年が言ったことは「言葉を通して、彼れられなかったことを恥じた。少年の言葉を胸に、周囲に喜ばれる仕事をしようと思ふ。しかし、よく考えて



本照寺 院務部
「ご遺囑」は
イシックスに
お任せ下さい
定額料 10,000円(税込)
遺言・遺産分割・遺言執行書 作成
0120-011140

と意思しますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。■私は仕事で大切にしたい視点を2つ持っており、僧侶という働き方がその2つを満たすことに気付いたため、僧侶を志すことになりました。それは
①人の幸せに貢献できる。
②自分が死んでも影響を与えられない、の2つです。
①に関しては幼少期から父に「人の役に立つ人間にならなさい」と育てられたため、

自然とそう考えるようになりました。僧侶の本分は「悩める人の苦しみを取り除くこと」であり、人の幸せに貢献できる可能性が高い仕事だと考えています。②に関しては「この世に生を受けた感謝として、世の中を良い方向にプラス1したい」と考えているためです。本照寺は私の死後も存続し続けますので、本照寺をより良いものにできれば、世の中

■日蓮宗新聞に以下、「吐く」の文字説明があった。「人は口からプラスのこと、マイナスのこととも言います。だから「吐く」という文字は「口」と「十」と「一」という字でできています。人がマイナスのことを言わなくなると「一」が消えて、「吐く」という字になるように、この世こそが霊山浄土と自覚し、苦難に負けず不平不満を言わない、法華経を信仰している私たちこそ、文字通り、「一(マイナス)」が消えて「吐く」となるのでは？」なるほど！です。……ブーメランを投げると

自分とところへ戻って来るように、投げかけた言葉や態度、行動、立ち居振る舞いもブーメラン同様に自身へと戻ってきます。優しい言葉を投げかければ「優しい笑顔」で返されることでしょうか。しかし「バカヤロウ！」と投げかければ「ありがとう」は帰ってきません。「横柄な態度」を投げかければ「不愉快な表情」が帰ってくることでしょう……。

あれば、自分自身を変えることで環境を変えることができます。私たちがはたかく、自分を棚に上げて、相手という環境を変えようとするようです(実は相手を一朝一夕に変えることは至難の業。自分を変えることの方が、より合理的です)。身近な一例です。ご主人に不満タラタラの奥さんに対して「朝ご主人を見送りますか？」「いいえ……」「ではそこから始めましょう」……奥さんという本質が、ご主人という環境を作っているのです。相手を責める前に、自分自身の本質を省みることに大切……そして叶えましょう。

諷誦文の取り止めと 年1回の集金に

■昨年10月6日、本照寺に於いて総代世話人会議が開かれ、お会式について協議がなされましたがその折、以下2つの協議案が出されました。

- ①現在、総代世話人が集金する「付け届け」は年4回だが、平成26年度から年1回とし、総代世話人の負担軽減を図るべきでは。
 - ②お会式での「諷誦文・ふじもん」は、平成26年度からは中止とし、お盆の「お施餓鬼」を中心とするべきでは。
- 協議の結果、賛成多数にて決議了承となりました。地域皆さま方のご理解とご協力を、お願いいたします。

東京大空襲と 広島 長崎原爆投下への一考察

自虐史観を考えると

「歴史認識」との言葉をニュースで耳にするが、一方、「自虐史観」との言葉も……。

「自虐史観」、これは「戦前、戦中、戦後の歴史観を、自国の負の部分をとことら強調、或いは歪め、正の部分を通小評価し、日本を貶（おとし）める歴史観」であり、日教組、また朝日新聞や毎日新聞の得意とするところ。今回、その「歴史認識」の一考察として、作家、百田尚樹氏の一文を紹介したい。

左記は戦争における日本擁護論だが一部紹介したい。

- ▼「彼ら（日本）が戦争に突入した主たる動機は自衛のためだった」。マッカーサー元帥
- ▼「日本のお陰でインドは独立できた。日本への感謝を忘れない」。インド建國の父・チャンドラ・ボース
- ▼「本当に悪いのは西洋人の方です。日本の参戦によってアジア諸民族は独立しました。日本の功績は偉大です。自分を蔑（さげす）むのをやめ、堂々と胸を張って、その誇りを取り戻すべきです」
オランダ・アムステルダム・サンティーン市長
- ▼「人道に反する罪で今、A級戦犯を裁いているけれども、本当に人道に反したのはナチスのユダヤ人迫害とアメリカの原爆だ」。東京裁判・パール判事の判決文から
- ▼「日本軍はインドネシア独立の恩人」
インドネシア（元オランダ植民地）・ハッタ副大統領
- ▼「日本はアジアの光である。大東亜戦争は欧米人にアジアの勇敢さを示した。日本人はアジアの誇りである」。インドネシア・情報省副長官

百田尚樹 ひやくた なおき



▼1956年大阪生まれ。同志社大学中退。TV放送作家として関西人気番組「探偵！ナイトスクープ」など多数を担当。2006年、特攻隊の零戦乗りを描いた『永遠の0（ゼロ）』で作家デビューし、（450万部発行・映画上映中）2013年、出光興産の創始者、出光佐三をモデルに、戦後のがれきの中から世界の石油メジャーに對抗した男を描いた「海賊と呼ばれた男」で本屋大賞を受賞。

一夜に12万人

東京大空襲がどれだけひどかったか……。

アメリカ軍は日本人、それも軍人ではなく女子供を含む民間人をできるだけたくさん殺すために、東京の下町で木造の民家密集地である墨田区や浅草を狙った。どうやったら日本人を効果的に殺せるかを考え、日本家屋の作れる日系人の職人たちがハワイから大量に呼び寄せてアメリカの砂漠に日本の木造家屋を作り、焼夷爆弾を使って焼きつくす「予行演習」までしていたんです。

【ハーグ条約では民間人を攻撃してはならないことが定められているが、アメリカの空襲、原爆投下はこれ

を無視。一方、日本はパールハーバーを攻撃したが、ホノルルの街には爆弾ひとつ落としていない……住職注】

昭和20年3月9日深夜、325機のB29は上空一キロメートルの低空で飛んできた。空襲警報が鳴り、住民は防空壕に逃げ込んだのですが、B29は何もせず房総半島を抜けて行ったので、日付が変わった頃、警報が解除された。住民がやれやれと家に戻ってきたところへ、Uターンして来たB29が爆弾を投下して大量虐殺に及んだのです。

それによって東京は大火災になりましたが、これも我々が普段想像する火事とは規模が違います。何十万户の家が一斉に燃え、秒で起こった火災旋風で、秒速百メートルの火の風が人々

象徴的な言葉

「過ちは繰り返しませぬから」

作られた歴史

ここから東京裁判の話をはじめると3時間必要なのでやめておきますが（笑）、南京大虐殺という虚偽の歴史がねつ造されたのも、結局、アメリカのやつたことを正当化するためです。当初



編集後記



「ハゼもみじ」として秋の季語となっている「ハゼの木」。毎年、階段上のハゼの木が真っ赤に染まります。何ぞ目録にして生きていったらいいの？。葉っぱのダニエル「生きた証を示すことだよ。何か他の人の役に立つようなことをして、喜んでもらえるのは生きた証になるんだよ。夏には涼しい木陰を作ってあげることも、生きた証になるんだよ」。絵本「葉っぱのフレディー・命の旅」の一節です。生きた意味や、命は形を変えて生き続ける、といったことを教えます。秋に落ちる（死ぬ）葉っぱは養分となって来たる春の新芽の手助けをする。それも生きた証であり、命の役割であり、命の旅、なんです。

を襲った。火を免れた人も酸素を奪われて死にました。アメリカ軍は一夜にして12万人という人間を殺したのです。町を焼き払った煙は一万五千メートルの成層圏にまで速したのですから、その凄まじさがわかります。続いてアメリカ軍は名古屋、大阪と焼きつくした。広島、長崎では原爆を落として人体実験をやった。



焼け野原と化した隅田川周辺

■広島市の原爆記念碑には「過ちは繰り返しませぬから」と書かれていますね。もしこの文言に疑問を感じなかったら、その方は自己洗脳プログラムから抜け出していないと判断していい。一種のリトマス試験紙です。

この碑文の意を汲み取れば、「日本があんな戦争をしたばっかりになつた、ごめんなさい、もうやりません」というものです。たしかに戦争をやったことはよくないです。軍部にも責任はあるし、

日本にも悪い面もあつたでしょう。しかし、原爆は100%アメリカが悪い。なのに、日本人が被害者に対して謝っている。どう考えてもおかしいでしょう。

東京裁判における唯一の国際判事だったパール判事はこの碑文を見て「日本人はここまで卑屈になつたか」と怒りました。【インド人・パール判事は東京裁判で日本を擁護（上記・囲み記事参照）。また現在もインド国会では広島・長崎原爆の日に記念式典が行われている……住職注】また、ルバン島から帰ってきた小野田寛郎さんは「この文章はアメリカ人が書いたのか」と聞いたそうです。